

大森陽子のフレッシュ便 21号

子どもと暮らしに寄り添う身近な相談相手として

2020年8月 〒781-1105 土佐市蓮池 337-15 ☎852-4551 携帯 090-4333-9761 大森陽子発行

市民の声を届けて実現



7月22日に臨時議会が開催され、コロナ対策臨時交付金事業32事業案(3億5400万円)が提案・可決されました。

事前に会派の3人で、執行部の説明をお聞きしに伺うと、「大森さんが(6月議会で)言いよったこと、大方通ちゅうろがえ」とのこと。「市民の声やきね。それを届けるのが私たちの役割、あなたたちも良かったろう」と答えたことです。

基準日以降に生まれた新生児に10万円の給付、事業者応援給付金(5万円)を市外で営業する事業者にもなどなどです。その他板原市長からは、2学期分の学校給食費(約3900万円)を免除する提案もありました。市長もやりたかったのだと拍手です。

さあ、次は衆議院選挙に向けて頑張らなくっちゃあ!



皆さんから寄せられた声が私の力に

これまで生の声、切実な願いを訴え、実現してきました。最も説得力があるのです。

勘違いしてはいけません

休憩時間に、「そんなこと全部分かっちゃう。質問することはない」と声を掛けてくる議員がいました。自民党系6人を擁する最大会派の会派長さんです。

議会は分からないことを聞くところではありません。提案された施策に間違いがないかチェックするとともに、市民の願いを提案する場です。そのことが分かっているならば、愛すべき人の良い方なのですが残念です。

政治に関心を! 選挙に行こう!

「私の声を」とどけ隊

投票率10%アップを

野党共同で、投票率アップを目指す署名運動が取り組まれています。事務局長は広田一さん。政治に関心を! 投票に行こう! と呼びかけています。ご協力お願いします。

厳しい暑さの到来

ご自愛くださいませ

